

足尾地域まちづくり懇話会の結果

日時:令和4年8月4日(木) 14時～

場所:足尾庁舎

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
1	令和4年4月に足尾小学校に併合された「旧足尾中学校」の今後の使用方法について、どのように考えていますか。	<p>「旧小百小学校」及び「山久保山村広場」を含め、「旧足尾中学校」の活用については、「日光市公共施設等に関する民間提案制度」により、活用方法の募集を始めたところです。地元紙にも掲載されました。</p> <p>昨年度は、「旧野口小学校」の跡地利用の提案募集を行い、アフタースクール等への活用を採用いたしました。現在、プレオープンイベントとして、夏休みの様々な体験イベントが実施されています。</p> <p>今後も、多くの民間の力を活用して、地域の賑わいづくりに取り組んでまいります。足尾地域においても、地域の振興に結び付くよう選定をしていきたいと思ひます。</p>	—
2	以前、「足尾中学校」の授業の一環として実施していた「夏いちご」栽培が、今は途絶えています。良い取組なので、是非続けてもらいたいと思ひます。	<p>学校ごとに植物を栽培したり、動物を飼ってみたりという取り組みは、子供達の教育のうえで、素晴らしい取組であると思ひます。</p> <p>しかし、学校の地域性であったり、学校経営の問題でもあり、教育委員会からは一概には言えませんが、ご意見があったことについては、学校に伝えます。</p>	—
3	高齢化が進む足尾地域において、ヤマビル被害に悩んでいる地区がすごくあります。周りの土地に草が生え放題で、鹿が住んでいるのが原因だと思ひます。一步入るとヤマビルが体にたかってしまう状態で、対策を考えて欲しいと思ひます。	<p>ヤマビルについては、足尾地域だけでなく広範囲にわたって問題となっています。大変申し訳ありませんが、現状これといった対策が無い状況です。</p> <p>対策については、専門家と協議して、今後対応を検討していきたいと思ひます。</p> <p>有害鳥獣対策として、鹿を先ず駆除していかなければなりません。何か良い対策があれば対応していきます。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
4	<p>「公共施設マネジメント計画」について、山の上にある地区は、集会所が無いと集まる場所がありません。避難所としても使用しています。</p> <p>集会所を自分達で壊すのか決めると言われても、集会所が無いと困ります。地区の役員会で出た話ですが、今壊す費用を先に市から預かることはできないでしょうか。それを積立して、いずれ不要になった時にそのお金で壊してはどうかという意見がありました。</p> <p>自分達で管理はするので、使わせておいて欲しいと思います。</p>	<p>「公共施設マネジメント計画」にもとづき、各地区集会施設の廃止・集約・譲渡について、令和5年度末までに方向性の確認、各地区の方と協議を進めているところです。</p> <p>今市地域などは、自治会が自分達で集会施設を建てて維持管理しています。</p> <p>足尾地域は、旧足尾町が整備した施設ではありますが、今後どうするかよく協議をしていただき、行政側と話を進めさせていただきたいと思います。</p> <p>先に解体費用を市が負担するというのは難しいですが、地元の皆様と丁寧に協議をしていきたいと思います。</p>	—
5	<p>高齢者が出かける時の足がありません。車を持っている者が、頼まれれば車を出していますが、運転する者も高齢化しており、これからどうしようかと思っています。</p> <p>各自治会において、助け合いする上での課題になっています。</p>	<p>令和3年8月から9月にかけて、足尾地域全体に市営バスに関するアンケート調査を行いました。</p> <p>アンケートの結果、現行のままバスを小型化し、停留所の数を増設してほしいという要望があり、検討を進めているところです。</p>	—
6	<p>日光市が財政難であるなら、市の広報にお金をかけないよう見直したほうが良いのではないのでしょうか。</p>	<p>デジタル広報もありますが、高齢者のことを考えると、紙ベースも必要だと思います。</p> <p>広報紙は、お知らせしたい情報を掲載しているので、できれば読んでいただきたいと思います。</p> <p>印刷も部数が減ると単価が上がります。経費の削減については、今後も検討していきたいと思います。</p>	—
7	<p>広報誌に関して高齢者の意見を聞きますと、足尾地域だけの情報が欲しいと思っています。</p> <p>自治会配布で、足の悪い高齢者が係になった場合、毎月配布するのは大変です。同じような内容のものを、何枚も何枚も持って来られても困ります。</p>	<p>広報に挟んでいたチラシを広報誌の記事に一本化するなど、工夫して現在の形になっています。</p> <p>しかし、広域で詳細な情報をお伝えする必要があるため、どうしてもこのボリュームになってしまいます。ご理解いただきたいと思います。</p> <p>行政として、いろいろな情報を市民の皆様へ伝える責任があります。</p> <p>なるべく情報の効率化を図るよう、改善に努めてまいります。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
8	<p>足尾地域には、特産の「舟石イモ」や「唐風呂大根」など、無肥料・無農薬に特化したオーガニック農作物があります。</p> <p>他の地域でも、オーガニックの滋養米や、あおぞら農園のようなオーガニック系の野菜を作っているところがあります。</p> <p>日光ブランドの農業をボトムアップするため、日光市全体としてオーガニックを目指すことを提案したいと思います。</p> <p>また、「舟石イモ」や「唐風呂大根」は、高齢化のため、土地を借りて、市外のオーガニック栽培をしているグループの力を借りて収穫しています。</p> <p>日光市全体で「舟石イモ」や「唐風呂大根」を、オーガニックで作るような支援を日光市として出来ませんか。</p> <p>さらに、日本の食の安全を考え、日光ブランドとしての先進的なオーガニック農業の支援や推進を、市として出来ませんか。</p>	<p>多くの米は、全農販売がほとんどです。「日光産滋養米」のように、日光産ブランドとして流通している事例があることも把握しています。それについては、農業者と市内観光事業者をマッチングさせるような取組も検討していきたいと考えています。</p> <p>また、「あおぞら農園」のような数種類の青果物を生産している農業者は、大変貴重なことと捉えています。日光市は、他市に先駆けて直売所が多くあります。市としても、情報発信センター等を活用して、ニーズの情報と農業者の情報を発信することにより、多彩で魅力的な農業を支援していきたいと考えています。</p> <p>「舟石イモ」や「唐風呂大根」の市内生産の拡大については、生産方法のノウハウ、種芋の確保、農業としての採算性の問題等が考えられます。まずは、農林課に具体的なご相談をいただきたいと思います。</p> <p>なお、市としてのオーガニックの推進については、採算性の問題もあり、すぐには難しいと思います。市としては、まずはオーガニック等のPRから取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>オーガニック関係の農業について、主都圏との商談会も企画しています。販路拡大して売れば、また作る事にもつながります。案内をしていきたいと思っています。</p> <p>また、商売として考えると、現実的には難しいので、まずは啓発から始めて、意識を高めて、ゆくゆくはオーガニックへ生産をシフトしていくような、入口からやっていかねばならないと思っています。食育といった部分から取り組んでいきたいと思っています。</p>	—
9	<p>市営バスを小型化し、停留場を増設すると聞いています。どこに停留場を増設するかは、アンケート結果だけではわかりません。よく調査して検討して欲しいと思います。</p> <p>普段市営バスに乗っている人も少ない状況で、デマンドバスがいいのかとも思いますが、他の地区の人に聞くと、それも難しい。今の状況で、何とか良くしていただきたいと思っています。</p> <p>便数を増やすことも必要かと思っています。</p>	<p>足尾地域内の市営バスの小型化と停留所の増設の検討をしています。利用状況と地域の方の声を聞きながら、検討していきたいと思っています。</p> <p>また、観光客の利用もありますので、そこも含めて検討していきたいと思っています。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
10	<p>事業者にとって、人口減少が一番の問題です。このままでは、人口が増える見込みがありません。商売をやっても大変です。</p> <p>コロナ禍で、廃業に追い込まれてしまう事業者も多くいます。お客様がこれ以上減れば、商売が成り立ちません。活気を取り戻すためにも、足尾地域に企業の誘致はできないでしょうか。</p>	<p>足尾地域への新たな企業誘致については、条件等の問題から、難しい状況ではありますが、有効な空き地等を登録してPRしていく取組もあり、今後適地等を調査して可能性を模索していきたいと思えます。</p> <p>企業誘致については、適地があるかを整理して、それからの取組になります。</p>	—
11	<p>足尾地域は、どこも土砂災害の危険区域になっています。自宅近くの側溝も傷んでおり、直して欲しいです。</p> <p>また、側溝の上に泥がたまって草が生えている状態で、側溝の意味がありません。市で土砂を退かして、側溝を使えるようにしてもらいたいと思えます。</p>	<p>道路除草と側溝内の土砂の撤去については、市としても今の時期大変苦慮しているところであります。</p> <p>市道延長が市内全域で1,452kmあり、市だけで全てを対応するのは難しい状況です。</p> <p>現状は、自治会等に環境美化活動をお願いしており、昨年の実績として4,209人の方にお手伝いいただき、市道延長112kmの道路除草やごみ拾いをさせていただきました。</p> <p>国県道は県で、市道は市で対応していますが、それ以外は地域の方に奉仕活動等をお願いしております。</p> <p>危険な箇所もありますので、場所を教えてください、どのように対応するか相談させていただきたいと思えます。</p> <p>側溝等の土砂については、県道であれば県の管理になり、市道であれば市になります。まずは、場所を確認させていただきたいと思えます。</p>	<p>現地確認の結果、栃木県管理の道路であることから日光土木事務所と立会いを実施し、道路除草および側溝上の土砂撤去を依頼しました。</p>
12	<p>更生保護女性会は、地域連携、青少年育成に力を入れています。小学校の読み聞かせなど、子供達とは密な状態にあります。</p> <p>また、呑竜寺と地域おこし協力隊が「足尾民立こども大学」を作って、小中学生の学力向上に寄与しています。足尾は塾が無く、子供達の教育の場がありません。</p> <p>賛同者から会費を徴収して、子供達のおやつ代や紙代等に使っています。</p> <p>また、放課後、学校から引率したり、灯油を供給したりするボランティアなどもいて、頑張っています。</p> <p>足尾は母子家庭率が高いので、支援が必要だからです。</p> <p>更生保護女性会でも「こども食堂」を始めたいのですが、どこか市の施設を借りられないか検討しています。花の渡良瀬公園の施設などを無料で借りられませんか。</p>	<p>花の渡良瀬公園の施設は、昨年度に「日光市公共施設等に関する民間提案制度」の募集をおこないましたが、まだ結果が出ていません。</p> <p>検討する余地はあると思うので、地域振興部と相談して、具体的な提案を出して欲しいと思えます。</p>	<p>貸出を希望する団体と施設を所管する足尾観光課と現地確認後、使用目的や、年間スケジュール等、実施予定の事業詳細について聞き取りを行いました。</p> <p>関係各課にて貸出する方向で協議しております。</p>

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
13	質問はありませんが、是非皆さん、「足尾に緑を育てる会」に苗木を植えに来てください。	お恥ずかしい話ですが、私も植樹に伺ったことがありません。 市外・県外からはいっぱい植樹にいらっしゃっている。いろいろな団体が参加していますが、意外に地元の団体、小中学校が参加していません。 大変申し訳ありません。期限をきって、必ず参加させていただきたいと思います。	—
14	足尾のこれからという、すぐに観光事業であるとか、何か事業をおこしてお金につながることを考えがちですが、人口がここまで減ってきている状態になると、いかに高齢者の生活を守って支えていくかに力を注いでいくべきではないですか。 行財政改革の一つと思いますが、社会福祉協議会の人員が減らされています。手を付けやすいところに皺寄せがいく。 足尾地域には、生産性ではなく、社会福祉に力を入れるべきだと思います。	今後も観光の視点だけに捉われず、足尾地域に何が必要なのか見極めながら取り組んでいきたいと思います。 社会福祉協議会については、別団体となりますので、間接的ではありますが、現在も補助金により支援をしています。	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
15	<p>「地域包括ケアシステム」について、県内最高の高齢化率の足尾地域に対して、市はどのような構想を持っていますか。</p> <p>実際に、社会福祉協議会の人員が減りましたが、民生委員・児童委員の会議はそこでやっています。不安が先に立っています。そのへんは、どのように考えていますか。</p> <p>足尾地域は、互いにケアをし合い、お互い様が構築されています。</p> <p>しかし、「足尾双愛病院」が手を挙げて、足尾地域には特別養護老人ホームができません。将来的に、私たちが安心して暮らせるというところで、市は足尾地域の現状をわかっていますか。</p> <p>「きびたき荘」にも入れず、転出してしまいう人もいます。もう少し日光市に特別養護老人ホームを設置していただきたいと思っています。</p>	<p>「地域包括ケアシステム」は「日常生活圏域」と呼んでいる圏域ごとに整備を進めています。</p> <p>足尾地域は一つの圏域であり、住まい、介護、医療といった生活資源を、限られた社会資源を効果的に活用しながら、皆様の協力のもと整えていこうというものです。</p> <p>そのなかで、高齢者も住み慣れた地域で暮らしていけるようにしていくものです。</p> <p>足尾地域は、中核的な病院があり、様々な市の施設がありますが、高齢化率が高く課題も多いです。</p> <p>国としては、高齢者が単に支えられる側だけでなく、支える側にもなって、その地域を協力して創っていくという地域共生社会を目指しています。</p> <p>市としても、地域包括支援センターや社会福祉協議会とともに、それぞれの課題を少しずつ解決していきたいと思っています。</p> <p>なお、「足尾双愛病院」は医療法人なので、基本的に特別養護老人ホームの設置は法律上出来ません。社会福祉法人又は地方自治体が設置できることになっています。</p> <p>特別養護老人ホームの設置は、介護保険制度の施設なので、3年ごとに定まっている「介護保険事業計画」のなかで、どのくらい市内で需要があるか、供給する法人がいるか等を考え、計画を立てて実施しています。地域ごとに施設を設けるという考えは今のところなく、市全体のなかで計画的に整備を進めてまいります。</p>	—
16	<p>足尾地域の市営住宅の入居率が低いと思います。</p> <p>かつて住んでいた人達が、家賃を今市並みに引き上げられました。</p> <p>教育面や気候面からも足尾は厳しいところで、こういう所で子育てするのが嫌で、今市方面に出て行った方が多いです。</p> <p>地域性を考え、市営住宅の家賃を安くするとか、母子家庭の方でも入りやすいような家賃設定にすれば、人口も増えるのではないかと考えています。</p>	<p>足尾地域の市営住宅は19団地あり、その内募集停止をしているものを除いて、住居可能な住宅が10団地あります。空いている住宅については、どんどん利用していただくことを考えています。</p> <p>募集停止する9団地は、将来的に廃止の方向で検討しており、それを集約するため空き部屋も利用したいと考えています。</p> <p>それ以外の空き部屋の利用については、公営住宅法、及び条例により、住宅に困窮する方や低所得者へ入居を許可しています。</p> <p>目的外使用については、全国的に先進地の事例を参考にしながら、調査・研究をしていきたいと思っています。</p>	—